

平成18年度勝山市消費生活相談概要

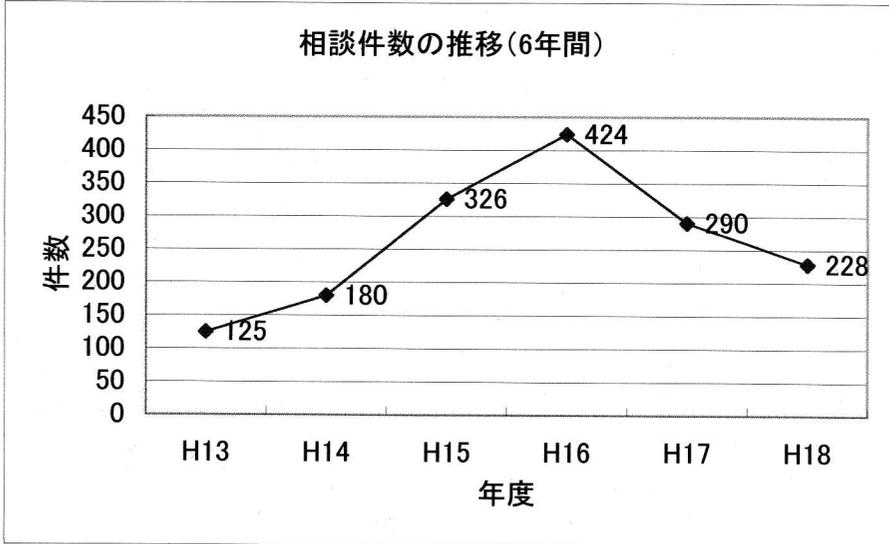
1 相談件数

勝山市消費者センターが平成18年度に受け付けた相談は228件。前年度に比べて21.4%の減少。
内訳は苦情176件と問い合わせ52件。

相談件数の推移(5年間)

H13	H14	H15	H16	H17	H18
125	180	326	424	290	228

(件)



2 データから見る苦情相談の特徴

①32%が高齢者、若年層もわずかながら増加

相談者(契約当事者)の多くは70歳以上に集中し、57人で全体の32%にのぼる。
10代は8人で平成17年度より3人増加している。

②契約・解約に関する相談は146件

「契約・解約」に関する相談が依然多く146件にのぼり、
中でも「架空請求」に関する相談は60件で、平成17年度の126件からみると52%の減少傾向にある。

③その他

個人情報に関する相談は54件である。
契約・購入金額の総合計金額は50810972円である。

3 事例から見る苦情相談の特徴

高額な商品を次々と契約させる次々販売のほか、福祉活動・慈善事業と称した送りつけ商法、
契約内容等の複雑化により携帯電話・生命保険・マイライン制度についての高齢者のトラブルがみられる。
ヤミ金融を含む深刻な多重債務問題も依然として後を絶たない。